

# 園だより

第 2 号 令和 7 年 4 月 25 日



## 『縦割り活動（異年齢交流）』が育てる力

園長 増子 義仁

本園は今年度より、『縦割り活動（異年齢交流）』に重点的に取り組んでいきます。昨年度までも、年長児と年中児の交流は行っておりましたが、今年度はそこに年少児も加え、満3歳児のおひさまクラス以外は基本的に日常生活を共に過ごします。

こちらの件に関しては昨年度末にお知らせしておりましたが、変更の理由や縦割り活動のねらいなど、詳細に関しての情報提供が不足していたことにより、不安や疑問を感じる方がいらしたこと、大変申し訳ございませんでした。

### 1 『縦割り活動（異年齢交流）』導入の経緯

ますます加速する少子化の中、本園でも園児数の減少が進み、赤・緑・青の年齢による園児数の偏りが顕著になってきています。個に応じた教育の重要性が高まってきている中、少人数指導を充実させ教育・保育の成果をさらに高めていくため、縦割り保育の導入を決定いたしました。

### 2 『縦割り活動（異年齢交流）』のねらい（教育的効果）

私たちの一生の中で、同年齢だけが集まって集団で生活するのは学校だけです。社会においては幅広い年齢層の集まりが当たり前です。このような社会性を身に付けるためには、幼少期の体験が重要であると言われていています。小学校以降は、発達段階に応じて学習する内容が決まっていますのでやむを得ませんが、遊びと生活が中心の幼稚園においては、異年齢での生活機会を増やしていくことが必要と考えます。昨今、異年齢活動を導入する園や学校が増加してきています。

- 異年齢集団において活動することにより、社会性の高まりが期待されます。
- 年齢層が下のお子さんは、発達モデル（年齢が上のお子さん）が身近にあることで、保育者の指導ではなく、見て真似ていくことにより自然と身に付くが増えます。
- 年齢層が上のお子さんは、お手本意識をもつことで、自律心が高まります。
- 行動の変化やよさを保育者が適切に声掛け（評価）していくことで、一人一人のお子さんの自己肯定感・自己有用感が高まります。

### 3 『縦割り活動（異年齢交流）』に対する心配に対して

縦割り活動の導入によって、「年長児が我慢する場面が増えるのでは」「これまでの学年での活動が十分になされないのでは」という懸念があると思います。私たちは、「年長児がお世話をする」という考え方ではなく、あくまでもお手本意識をもって共に生活をする、ことを主として考えています。また、全て縦割り活動で活動するわけではなく、お泊り会「青組の日」を含め、これまでとほぼ同様の年齢別の活動は実施いたします。

ご不明な点がありましたらお気軽にお問い合わせください。どうぞよろしくお願いいたします。

## 【 令和7年度 保育ガイド 】

ばんけい幼稚園の教育計画をお知らせします。表の内容については、「自己の側面」、「他者との関わりの側面」、「環境の側面」にかかわる部分を抜粋して記載しました。また、赤い文字は異年齢との関わりの内容です。今年度も『身近にある自然を活かして全力で遊ぼう』をテーマに、「遊びを通して」「体験を通して」子どもたちの心と体の根っこを育てていきたいと考えています。

### ○ねらい ・内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(年長) 年間のねらい ・一人一人が意欲的に物事に取り組み、自分の力を発揮しながら友達と一緒に園生活を楽しむ。	(自己の側面) ○年長になったことを喜び、いろいろなことに挑戦する。 ・見通しを持って園生活を送る。 ・身体を十分に動かして遊ぶ。 ・気持ちよく過ごせるように生活の場を整える。				(自己の側面) ○自信をもっていろいろな活動に取り組む。 ・自分で考えて行動する。 ・ <b>お手本となるように自発的に生活の場を整える。</b> ・いろいろな運動遊びに興味を持ち、進んで行う。				(自己の側面) ○目標に向かって活動に取り組む。 ・自信を持って行動する。 ・基本的生活習慣を見直し、自信を持って生活を進める。			
	(他者の側面) ○年長児としての自覚を持ち、生活に必要な決まりを守る。 ・園生活に必要な決まりを理解し、守る。 ・ <b>生活する仲間を知り、一緒に遊んだり、積極的に関わったりする。</b> ・挨拶を進んで行う。				(他者の側面) ○共通のイメージを持って、自分の力を発揮しながら、友達と力を合わせて遊びや活動を楽しむ。 ・仲間と役割を分担したり相談したりしながら作り上げることを楽しむ。 ・目的や見通しをもって友達と活動に取り組む。 ・自分の思いを言葉で伝え、友達の言葉にも耳を傾ける。				(他者の側面) ○友達の姿を認め、一緒に活動を楽しみやり遂げる充実感を味わう。 ・園生活を振り返り成長を喜びあう。 ・困難と感じることに諦めずに挑戦し、最後までやり遂げ自信をつける。 ・自分の生活に関わりのある人に感謝の気持ちを持つ。			
	(環境の側面) ○身近な動植物や虫などの自然に興味を示し、友達と発見することを喜び。 ・遊びを通して季節を感じる。 ・数、形、距離、時間などに関心を持つ。 ・友達と一緒に歌を歌うことを楽しむ。 ・異文化、外国語に触れ楽しみながら親しみを持つ。				(環境の側面) ○自然物や自然現象を遊びに取り入れ、試したり工夫したりする。 ・収穫したものを調理し食べてもらうことを喜び。 ・みんなと心を合わせて歌うことの楽しさ、聞いてもらうことの嬉しさを感じ喜んで表現する。				(環境の側面) ○身近な事象に関心を持ち、物の性質や仕組み、変化に気づき、試行錯誤しながら遊びに取り組む。 ・寒さに負けず十分に身体を動かし、いろいろな運動や遊びに取り組む。 ・園生活の思い出を言葉や製作で表現する。			
(年中) 年間のねらい ・いろいろな遊びや活動を楽しむ、約束やルールを守りながら、友達と楽しく過ごす。	(自己の側面) ○新しい生活に慣れ、したい遊びを見つけて楽しむ。 ・園生活のリズムや生活習慣を知り、自分でしようとする。 ・体を伸び伸びと動かして活動することを楽しむ。 ・好きな遊びを十分に楽しむ。				(自己の側面) ○いろいろな遊びや活動を通して、自分の力を発揮しようとする。 ・好きな遊びをじっくりと行うことで、満足感や充実感を味わう。 ・十分に身体を動かし、ルールを守って遊ぶ。				(自己の側面) ○いろいろなことに挑戦し、進級することへ期待をもつ。 ・新しい事や難しいことに取り組もうとし、やり遂げる喜びを感じる。 ・見通しをもって自分のことは自分でしようとする。			
	(他者の側面) ○教師や友達に親しみを感じ、共に過ごすことを喜び。 ・教師や友達と触れ合って遊ぶことを楽しむ。 ・園生活に必要なルールを確認する。 ・教師や友達に自分の思いを言葉や身振りで伝えようとする。 ・進んで挨拶をする。 ・ <b>年長児の刺激を受け真似をし自分もやってみようとする。</b>				(他者の側面) ○いろいろな友達がいることに気づき、関わっていこうとする。 ・ <b>クラスのいろいろな友達と関わり、親しみの気持ちをもつ。</b> ・気の合う友達と思いを出し合いながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・言っではいけないこと、してはいけないことに気づく。				(他者の側面) ○思いを出し合いながら、友達と一緒に遊ぶ喜びを感じる。 ・友達との関わりの中で、思ったことを伝えたり、相手の気持ちに気づいたりしていく。 ・ <b>年長児や園生活で関わりのある人に感謝する。</b>			
	(環境の側面) ○身近な自然と触れ合い、興味を持った遊びに取り入れたりして楽しむ。 ・身近な自然の変化や彩りに気づき、自然物を使って遊ぶ。 ・砂、水、泥などの自然素材にかかわって遊ぶ楽しさを味わう。 ・作物の世話をし、成長の変化に気づく。				(環境の側面) ○心を動かしながら身近なものとの関わり、興味や関心を広げていく。 ・畑や山の恵みを頂いたり、季節の移り変わりを感じたりしながら遊ぶ。 ・自然物のある場所が分かり、必要な物を自分で集めて遊びに使う。 ・活動の中で五感を使い自然への関心や楽しみを広げる。 ・収穫を喜び野菜を味わう。				(環境の側面) ○冬の遊びを思い切り楽しむ。 ・冬の自然に親しみ、遊びを十分に楽しむ。 ・雪や氷など自然物を集めたり、見立てたり試したりして遊ぶ。			
(年少) 年間のねらい ・安心して自分らしく過ごす。 ・教師や友達に親しみ園生活を楽しむ。 ・いろいろな遊びを楽しむ。	(自己の側面) ○園生活に慣れ、喜んで登園する。 ・園生活の流れを知る。 ・基本的生活習慣の仕方を知り、教師と一緒にしようとする。 ・好きな遊びを見つけて、楽しむ。		(自己の側面) ○いろいろな活動や遊びに参加し楽しむ。 ・基本的生活習慣を自分でしようとする。 ・伸び伸びと身体を動かして遊ぶ。 ・自分のしたい遊びを繰り返し楽しむ。		(自己の側面) ○大きくなる喜びと、進級への期待を持って生活する。 ・寒さに負けず戸外で遊ぶ。 ・身支度や片付け等、自分で出来ることは自分で行き、自信を持って生活する。							
	(他者の側面) ○教師に親しみ、安心感を持つ。 ・自分のクラス、担任、友達がわかる。 ・教師に親しみ、一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・園生活の中で、きまりがあることを知る。 ・ <b>異年齢の友達を手本に挨拶をしようとする。</b>		(他者の側面) ○友達や教師との生活に慣れ、親しみを持つ。 ・遊びの中で友達と触れ合い、同じ遊びをすることを喜び。 ・ <b>異年齢の友達の活動を見て、真似たり一緒にやろうとしたりする気持ちを持つ。</b> ・教師や友達に自分の気持ちを伝え、相手の気持ちも知る。		(他者の側面) ○友達や教師に自分の思いを表現しながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・ <b>言葉のやり取りをしながら、いろいろな友達と遊ぶ楽しさを味わう。</b> ・自分の思い通りにならない事を経験する。 ・園生活に必要なきまりを守ろうとする。							
	(環境の側面) ○身近な環境に触れ、見たり触ったりしようとする。 ・身近な自然物に触れ、集めたり、お土産にしたりすることを楽しむ。 ・虫や生き物を見たり、触ったりする。 ・畑に苗を植える。		(環境の側面) ○自然物を取り入れて遊ぶことを楽しむ。 ・四季の移り変わりを感じながら、その美しさに気づく。 ・身近な自然物を使ってままごとをしたり、虫を捕まえたり、自然物集めをするなど、興味を持って遊ぶ。 ・畑の作物や木の実を味わい美味しさや喜びを感じる。		(環境の側面) ○冬の自然に親しみ寒さに負けず元気に遊ぶ。 ・雪や氷などに関わり、その性質や感触の違いに気づき、取り入れて遊ぶ。 ・雪や氷を使って見立て遊びやごっこ遊びを楽しむ。 ・雪山に繰り返し登り、尻滑りを楽しむ。							

【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿】 ①健康な心と体 ②自立心 ③共同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重  
 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現